

福ぶらルートとスポット情報

※『福ぶら』での「難易度」は、移動距離が多いほど難しいという事で設定されています。
 ※シナリオが別々で重複しているスポットは、どこかのシナリオで一度行ったことがあれば他のシナリオでも既に行ったという扱いになります。

福岡銘菓	みどころ	福岡の美味しいものといえば、明太子、ラーメン、水炊きなどが有名です。しかし、まんじゅう発祥の地でもある福岡は昔から海外との交流が盛んなこともあり、美味しい和菓子も沢山。和洋折衷、いろいろなお菓子を見て食べて楽しむことができるルートです。
	難易度(5段階)	★
	所要時間	1時間半～3時間
	ルート	承天寺→松屋本店→明月堂川端店→石村萬盛堂本店→東雲堂本店

【ストーリー】

幼少の頃両親を亡くし、ショックでその頃の記憶の無い主人公「斎藤桎尾」。
 彼の記憶に残っているのは、甘いお菓子の記憶と、「忘れ物」。
 可愛がってくれた育ての親が相次いで亡くなった夏、初めてふるさとの福岡を訪ねてみようと思い立つ。
 旅の無事を祈るために立ち寄った承天寺で、思わぬ記憶が蘇る。確かに自分が福岡に住んでいたという確信を得た彼は、甘いお菓子の味で無くした記憶を取り戻していく。そして彼の「忘れ物」も…。

怪獣来襲	みどころ	福岡は特撮怪獣映画で、有名な怪獣に何度も街を破壊されています。その本物の舞台を楽しんでいただくために、実際に映画の舞台となった場所を巡り、建物と怪獣とのリアルな対比などを楽しんでいただけるようなルートです。
	難易度(5段階)	★
	所要時間	1時間半～3時間
	ルート	福岡パルコ→アクロス福岡→福博であい橋→福岡Yahoo!JAPANドーム→福岡タワー

【ストーリー】

怪獣特撮マニアから足を洗えない、独身で40歳手前の「ゴロー」。そんな彼が、何かを「福岡」で探して欲しいと自分に頼む女性の夢を見た。腕に赤子のようなものを抱えた女性を見て、ゴローは「自分の将来の嫁かもしれない」と思い込む。
 福岡は数々の特撮映画の中で怪獣に蹂躪された土地である。彼はその撮影場所も回ることにして、軽い気持ちで福岡へ乗り込んだ。
 しかしそこに待っていたのは、子供ではない「あるもの」を抱えた女性だった。

いつでも山笠体験	みどころ	夏といえば、福岡では博多祇園山笠。その山笠が一年中見られる施設や山笠の歴史を知ることができる資料館など、このルートを回することで、夏以外でも山笠を身近に体験することができます。
	難易度(5段階)	★★
	所要時間	2時間～3時間半
	ルート	承天寺→博多川端商店街→「博多町家」ふるさと館→櫛田神社→福岡市博物館

【ストーリー】

市内の高校に通う、「瑛太」。彼のクラスに、都会から転校生がやって来た。ぶっきらぼうで無愛想な転校生の「悟」は、まったく心を開こうとしない。
 山笠の先輩でもある尊敬する先生から転校生の世話を頼まれた瑛太は、しづしづながらも悟に声を掛けるが、誰が好きでこんな街に来るものかと馬鹿にされる。山笠を引き合いに出し、福岡の良さを伝えようとする瑛太に向かって悟は、それなら山笠に連れて行け、と言う。しかし、今は山笠のシーズンではない。
 シーズンではなくても山笠を楽しめる場所を回り、二人は徐々に打ち解けるかのように思えたが、そこに至るまでには大きな壁があったのだった。

幕末武士	みどころ	福岡の幕末といってピンもと来ない方も多いと思いますが、高杉晋作が隠れていた家があったり、坂本竜馬が作ったとされている薩長同盟の起草文、実は福岡藩の人物が書いたという話もあります。幕末の歴史認識が改められることけあいなルートです。
	難易度(5段階)	★★
	所要時間	2時間～3時間半
	ルート	平尾山荘→少林寺→平野神社→福岡城跡

【ストーリー】

俗に言う歴女である「松本紗枝」、彼女が今夢中なのが幕末。

そんな折、京都旅行の際に撮った写真から、人間ではないものが写っている写真を見つける。

なんとその写真からどろんと出てきたのは、幕末の福岡藩にいたという志士の「栄次郎」という名の武士だった。

幕府は倒れ、福岡藩はなくなると説明する彼女だったが、幽霊の栄次郎は信じようとしない。なんとか彼を納得させるべく、

記憶の残っている場所を巡ることにする。回るうちに、幽霊と人間の二人は幕末の福岡の歴史を知ることになる。

そして紗枝には栄次郎への特別な想いが芽生えてしまい…

見晴らしのいい場所	みどころ	福岡で「見晴らしのいい場所」といえば「福岡タワー」が真っ先に思い浮かびますが、それ以外にも絶景を楽しめる見晴らしのいいスポットがあります。このルートを回することで、様々なところから福岡を一望することができます。
	難易度(5段階)	★★★
	所要時間	2時間～3時間半
	ルート	福岡タワー→愛宕神社→博多ポートタワー→アクロス福岡

【ストーリー】

『アガルマトフィリア』『スタチューフィリア』。この呪文のような言葉は、その時の私たち2人しか知らなかった。

それがきっかけで特別な友達になった「カズミ」と「カスミ」。カスミには、空に浮く青いガラスの城が見えることがあるという。

その城を探すべく、二人は「見晴らしのいい場所」を探しに出かけた。誰にでもあった、思春期のころのお話。

魚大好き	みどころ	獲れたての魚介類を味わえる市場を回り、福岡近海で見られる魚を見物できる水族館を回ります。福岡の美味しい魚を食べ、実際に泳ぐ魚も見物できるという、まさしく魚が好きな方におすすめする、ひとつのルートで2度おいしいルートになっています。
	難易度(5段階)	★★★
	所要時間	2時間～3時間半
	ルート	福岡市鮮魚市場→柳橋連合市場→ベイサイド博多埠頭→マリンワールド

【ストーリー】

ある日、電柱の影にうずくまる老人を助けた「アズキ」。オスの野良猫である。なんと助けた老人は神様だという。

助けてもらったお礼にと、かねてよりアズキが思っていた「人間になりたい」という願いをかなえてもらう。

おいしい魚が食べられる市場を回り満足したアズキは、そこで以前にケガの手当てをしてもらった少女「サヨリ」と出会う。

落ち込んでいる彼女を励まそうと、魚を見られるおすすめの場所へつれていくアズキ。しかし、そこでアズキの正体が…

元寇	みどころ	歴史の授業で一度は習う「元寇」。日本を2度にわたって元より守りぬいたことで有名ですが、実際に「防塁跡」として、歴史に名を刻んでいる場所が福岡には残っています。約700年前の痕跡を間近に触り、いかにして元を撃退したかといった歴史にも詳しくなれるルートです。
	難易度(5段階)	★★★
	所要時間	2時間半～4時間
	ルート	筥崎宮→東公園→元寇防塁(西新地区)→福岡市博物館

【ストーリー】

大学で昼食を取るためにキャンパスを歩いていた青年、「槇」。いつもランチを取るお気に入りの場所に、武士のような格好をした男がいた。関わらないようにしようとしたもののうっかり呼び止められてしまい、話を聞くことになってしまう。

彼は、文永の時代、元の襲来から福岡を守っていたというのだ。

どうやら時間を越えて来てしまった武士「時房」を元の時代に戻すべく、元寇と関わりの深い場所を探す二人。

今時の草食系男子の槇に対して良い印象を持たない時房、自分を子供扱いし坊主呼ばわりされ、何に対しても熱く語る時房に

引き気味の槇。二人が理解し合え、時房が無事にもとの時代に戻れる時は来るのだろうか？

廃線の旅	みどころ	新しいものができる度、なくなっていくものがある。福岡が近代化するつれ、無くなっていった鉄道の跡を巡るルートです。 その跡は、記念としてはっきり残っているものや、言われないと分からない隠れた形跡など、様々なかたちで残っています。鉄道ファンの方はもちろん、昔の福岡をご存知の方にも懐かしんでいただけるルートです。
	難易度(5段階)	★★★★
	所要時間	3時間～4時間半
	ルート	筑前箕島駅跡→梅公園緑道→博多ポートタワー→博多臨港線踏切跡→馬出電停跡

【ストーリー】

「智、生きているうちだけが花じゃない、なくなってしまうても、偲ばれることが花なんだ。」

鉄道員だった祖父の影響を受け、鉄道、その中でも廃線を好むようになった。40歳になった今年、彼は祖父と最後に見た廃線跡を探す旅に出た。流されるまま生きている自分は、祖父のように何かを残すことができるのだろうか。

自分を見つめなおすために、彼は祖父との思い出を巡る。

パワースポット	みどころ	博多の総鎮守から美味しい水をいただけるスポットまで、福岡で神様からのご利益を授かりたい方はまずここを回るべし！といった場所を巡ります。 感謝を忘れずお参りすれば、きっと恩恵を授かることができる、有難いスポットです。
	難易度(5段階)	★★★★
	所要時間	3時間～4時間半
	ルート	櫛田神社→住吉神社→筥崎宮→不老水→香椎宮

【ストーリー】

28歳のOL「新宮マイ」は、職場の大先輩が結婚したことにあせっていた。ブーケトスをしっかりもらった彼女は、その先輩から結婚にいたる秘訣を聞く。それは、なんとパワースポット巡りだという。先輩との協議の結果、行き先は福岡と決定した。

まずは博多の総鎮守の櫛田神社へ挨拶を済ませ、恵方盤を携帯で撮影しようとした際だった。

上を向きすぎてひっくりこけそうになった彼女を支える手。パワースポットのご利益はいかに？

近代建築を訪ねて	みどころ	最新のビルが立ち並ぶ中、街中に現役で佇む、当時のままのノスタルジックな近代建築。福岡にはそのイメージがありませんが、実は街中に意外と潜んでいるのです。 外観だけでなく、全てのスポットにおいて内部も見学できるというところも魅力です。
	難易度(5段階)	★★★★
	所要時間	3時間半～4時間半
	ルート	九州大学箱崎キャンパス→西南学院大学博物館→旧福岡県公会堂貴賓館→福岡市赤煉瓦文化館

【ストーリー】

物の話を聞くことができるという不思議な力を持つ少年「カイ」と、ひょんなことからその力のことを知った少女「マナ」。マナの家には、サビているわけでもないのに、開かない古い小箱があった。マナは、この小箱に何かの意思を感じていた。カイに、この小箱から話を聞いて欲しいと頼むと、その小箱は九州大学の正門へ行きたいと言っているらしい。

こうして二人は、箱のメッセージが導くまま福岡の建物を巡ることになる。箱が開かなかった理由には、ある物語が…

癒しスポット	みどころ	仕事に行って、家に帰って、また仕事。休みの日にリフレッシュしたくても、できれば遠出はしたくない… そんなお疲れの現代人におすすめな、水と緑のパワーを得られる、隠れたヒーリングスポットばかりを集めました。 都心から少し足を伸ばすだけで行ってしまうこのルートは、都会の喧騒を忘れてのんびりした時間を過ごすのに最適です。
	難易度(5段階)	★★★★
	所要時間	3時間半～4時間
	ルート	松風園→友泉亭公園→アクロス福岡→福博であい橋

【ストーリー】

仕事に追いまわられて心休まる日のないOL、「才谷素子」。ある日、とんでもなく大きな失敗をしてしまい、帰り道にはと雨に降られ、ことん落ち込んでしまう。そんな時に見つけた『癒しスポット』の特集記事。
仕事への意欲が失われかけていた彼女は、英気を養うため、休日にそのスポットを巡ることにした。
しかし職業病から仕事のことが気になり、なかなか手放しでは休めない彼女。つつい携帯で連絡をとってみたい、掛かってくる電話を無視できずにいた。彼女のリフレッシュ作戦は果たして成功するのか！？

悲劇のヒロイン	みどころ	夏といえば、ちょっぴりこわーい話が聞きたくなるもの。福岡にも、そんな場所があることをご存知ですか？ その中でも、悲しい運命に翻弄された、美しい女性にまつわるスポットを厳選しました。 なんと、あの安倍晴明が立ち寄ったといわれる場所も！ ミステリースポットがお好きな方に是非お勧めしたいルートです。
	難易度(5段階)	★★★★
	所要時間	3時間半～4時間
	ルート	米一丸の塔→十六宵遺跡 鏡の井→濡衣塚→天神中央公園→福岡城跡

【ストーリー】

「死んだ人はどこに行くんだろう？」
若くして死んでしまった母のことを思い、「鈴木正治」は、沈んだ気持ちからなかなか抜け出せないでいた。
まったく覇気のない状態の彼を見かねて、学生時代の先輩が電話をかけてきてくれた。幽霊でもいいからもう一度母に会いたいと願う彼に、幽霊の話をしていたらもしかして寄って来てくれるかもしれない、と提案する。
その案に乗り、福岡市内で有名な幽霊話が残っている場所を巡ることにした。
しかも、美女で有名なスポットばかりだという。母にもう一度会う、その願いは叶うのだろうか。

島への船旅	みどころ	自然いっぱいの離島で、森と海の恵みを楽しみながら休日を過ごす。 忙しい中、そんなことは無理と諦めている方は必見。 なんと、そんな場所が西区の渡船場から10分で行ける場所にあるのです！日帰りだってできてしまいます。ちょっとした旅の気分を、気軽に味わえるルートです。
	難易度(5段階)	★★★★
	所要時間	4時間～5時間
	ルート	姪浜旅客待合所→能古旅客待合所→白髭神社→のこのしまアイランドパーク →能古博物館

【ストーリー】

「飯島孝一」は、大学4年、就職活動真っ最中。何回やっても出口の見えないルーチンワークに、精神が参ってしまいそうだった。
このままではいけない、日常から離れてリセットしよう！と思い立った彼。しかし、今はスケジュールにまったく余裕のない状態で遠出はとても無理。
ふと、以前大学のサークルで行った能古島を思い出した。船で行ける距離で、ちょっとした旅気分も味わえるはずだ。
そうと決まれば、ということで島へ向かった彼。しかし、船の待合所で今にも海へ身を乗り出そうとしている女性を見かける。
これが、彼女との出会いだった。